【答申草案】B-1

太田市学校適正規模及び適正配置審議会は、太田市教育委員会の諮問について、令和４年７月より〇回にわたり審議を行いました。

少子化に起因する児童生徒数の減少が見込まれる中、児童生徒により良い教育環境を整備し、質の高い教育を維持継続するという観点から審議し、結果をとりまとめ、次のとおり答申します。

太田市における市立小・中・義務教育学校の適正規模と適正配置に関する基本的な考え方について

小学校

望ましい学級数	１２学級～１８学級又は２４学級
許容できる学級数※	下限：６学級又は９学級以上 上限：適正規模の６学級増
望ましい通学〇〇	〇〇以内

中学校

望ましい学級数	９学級～１５学級又は１８学級
許容できる学級数※	下限：６学級以上 上限：適正規模の３学級又は６学級増
望ましい通学〇〇	〇〇以内

義務教育学校

望ましい学級数	〇〇〇〇〇
許容できる学級数※	〇〇〇〇〇

※今後の児童生徒数や、学級数の推移を注視する規模

太田市教育委員会におきましては、この答申や審議を踏まえ、児童生徒が学校生活の中で人間関係を切磋琢磨し、社会性を身に付けられるよう、また、環境整備により安全安心な学校生活が送れるよう配慮を要望します。

【答申草案】B-2

太田市学校適正規模及び適正配置審議会は、太田市教育委員会の諮問について、令和４年７月より〇回にわたり審議を行いました。

少子化に起因する児童生徒数の減少が見込まれる中、児童生徒により良い教育環境を整備し、質の高い教育を維持継続するという観点から審議し、結果をとりまとめ、次のとおり答申します。

太田市における市立小・中・義務教育学校の適正規模と適正配置に関する基本的な考え方について

小学校

望ましい学級数	１２学級～１８学級又は２４学級
・全学年でクラス替えができる１２学級以上が望ましい ・学校の運営、集団の把握がしやすい１８学級～２４学級以下が望ましい	
許容できる学級数※	下限：６学級又は９学級 上限：適正規模の６学級増
・複式学級にならない６学級から、半分の学年がクラス替えできる９学級を下限とする ・施設利用や安全確保の面から、適正規模の上限より６学級増までを上限とする	
望ましい通学〇〇	〇〇以内
・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	

※今後の児童生徒数や、学級数の推移を注視する規模

中学校

望ましい学級数	９学級～１５学級又は１８学級
・教科担任制が工夫により運用でき、かつ多様な個性に出会うよう効果的にクラス替えができる９学級以上が望ましい ・学校の運営、集団の把握がしやすい１５学級又は１８学級以下が望ましい	
許容できる学級数※	下限：６学級 上限：適正規模の３学級又は６学級増
・人間関係を固定化しないよう、クラス替えができる６学級を下限とする ・学級数に応じた施設規模の確保や安全確保が重要であり、かつ学級数が多いことによる弊害が少ないことから、適正規模の上限より３～６学級増までを上限とする	
望ましい通学〇〇	〇〇以内
・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	

義務教育学校

望ましい学級数	○○○○○○
・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
許容できる学級数※	○○○○○○
・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	

太田市教育委員会におきましては、この答申や審議を踏まえ、児童生徒が学校生活の中で人間関係を切磋琢磨し、社会性を身に付けられるよう、また、環境整備により安全安心な学校生活が送れるよう配慮を要望します。